

千葉県 大網白里町地域公共交通活性化協議会

平成20年6月6日設置
平成21年3月24日連携計画策定



概要

○公共交通の現況

- ◆鉄道は、町西部にJR外房線大網駅、永田駅があり、大網駅からJR東金線が分岐している。大網駅は、東京駅から約45分（特急利用）千葉駅へは約25分であり町外からの利用も多い。大網駅の乗車人員はほぼ横ばいで推移し、約11,500人／日である。
- ◆路線バス（高速バス含む）16路線が運行されているが、利用者数は減少傾向。
- ◆事業所の送迎バスを利用した高齢者外出支援事業を実施。

○課題

- ◆路線バスの利便性向上
- ◆公共交通空白地域におけるモビリティ確保
- ◆住民、行政、事業者との役割分担の明確化

○活性化の目標・方向性

- ◆路線バスを町内の基幹交通として位置付け、サービスの充実と利便性向上を図る。（路線バス利用者数目標 272,000人／年）
- ◆路線バスで対応できない地域については、新たな公共交通システムの導入を目指す。
- ◆住民・交通事業者及び行政との協働により持続可能な交通体系の実現を図る。

○コミュニティバス実証運行（平成22年1月9日～平成24年3月31日）

公共交通空白地域内の移動手段として、持続性のある公共交通システムの実現に向けて、増穂地区の一部と大網市街地を結ぶコミュニティバスの実証運行を行う。

- ・運行便数 1日8便（左回り 4便、右回り 4便）
- ・運賃 大人（中学生以上）200円 小人（小学生以下）・障害者 100円

○デマンド型乗合タクシー実証運行（平成22年10月～平成24年3月末予定）

公共交通空白地域内の移動手段の確保並びに路線バスとの連携を図るため、ドア・ツー・ドア方式により白里地区内を運行区域とするデマンド型乗合タクシーの実証運行を行う。

- ・運行時間帯 8時～17時 ・車両 セダン型タクシー ・運賃 未定

○バス停留所上屋の整備（2基設置予定）

利用者の多いバス停に上屋を設置し、バス待ちの快適性及び安全性の向上を図る。

○サイクル&バスライド駐輪場の整備（1基設置予定）

自転車利用の多いバス停に駐輪場を設置し、歩道環境の改善及びバスと自転車の連携を図る。

